

目標達成計画

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|----------|--|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 2(2) | 回覧版を回して頂き自治会の活動(クリーン作戦)への参加や、ご入居者との買い物時の近所の商店への利用、散歩等外出時の挨拶はおこなわれているが、更なる地域と事業所の関係強化として日常的に近所の住民が立ち寄りたり遊びに来たりする取組みを強化へ。 | 事業所運営理念の推進として近所の住民との日常的な関係強化を図る。 | ・通勤時等挨拶だけでなく、気軽に来訪して頂く様にご案内をする。 ・ご入居者と散歩や自治会行事参加時にも気軽に交流しに来訪して頂く様にご案内する。 | 1ヶ月 |
| | | | ホーム側からの積極的な働きかけによる地域での関係づくりを図る。 | ・自治会の住民の方々に参加をしていただけるような講座を計画(例 介護疲れ解消を目的とした生き生き楽々講座等) 実施する。 | 6ヶ月 |
| 2 | 34(12-2) | ご入居者の容態変化時やインシデント等特変事項発生時夜間休日問わずホーム長に連絡報告し対応の指示を受け対応しているが、ごく一般的な家庭の誰でもできる対応については速やかに実施ができるような取組みを要する。 | 軽微なインシアクシ発生時は、速やかな初期対応をユニット全職員が対応できるようにフローチャートを作成する。 | ・事象別フローチャートをユニット全職員へ周知を図る。 | 3ヶ月 |
| 3 | 40(15) | 食事は、利用者の生活においてとても重要なものであり、その一連の作業に関わることは利用者の主体性や持てる力を引き出す大切な機会でもあり利用者一人ひとりの状態や力に応じて出来る範囲で下ごしらえや味付け、後片付け等を職員が一緒に行えるよう働きかけたり、場面作りをする取組みを要する。 | 食を通じてご入居者個々のできる活動としての能力に応じた生活機能維持訓練、楽しむことが、できるようにする。 | ・献立メニュー作成時ご入居者の好みを取り入れる工夫としてご入居者と一緒に相談し作成する。 ・食事一連の作業の中でご入居者の情動や体調に応じて活動への参加を誘導する。 | 3ヶ月 |